

| | | | |
|--|---|---|---|
| <p>△産業宣教：237 と第 1、2、3、RUTC の答え 24 新しい知識と産業(創 3:4-5, 15)</p> | <p>△核心：第 1、2、3RUTC の答え 24 Remnant Day - 7 月学院福音化</p> | <p>△レムナント伝道学：伝道者の生活と第 1、2、3RUTC の答え 24 10 の土台 - 生活が宣教地(詩 139:1-10)</p> | <p>△散らされた弟子たち/237、5000 を生かす 第 1、2、3RUTC の答え 24 70 人の方を持っていないならば(使 1:14, 2:9-11)</p> |
| <p>□序論 1. 世の中(地球)、宇宙、空中の権威、御座(現実 X) - このような、時空超越の世界があることを分かれば現実に縛られない。 2. 霊的世界(主張 X) - 霊的世界を知って味わったとすれば、私の主張があるはずはない。 3. 真理-福音(紛争 X) - 真理は福音だけ。霊的世界と真理を分けるならば、紛争が出てくるはずはない。</p> <p>□本論 1. 本来のことを産業化 1) 創 1:27 人間だけ神のかたちとして創造、創 1:28 征服してほど治めない。 創 2:7 力を与えられた。いのちの息を吹き込まれた。 2) 奪われた産業-見つけ出すべき (1) 創 3:4-5 神様を離れて完全に私の立場だけ主張するようにさせて、みな奪っていった。 (2) 創 6:4-5 愚依委運動で人々をみな倒した。 (3) 創 3:16-20 それで苦しみが続く。 3) 創 3:15 解決策-女の子孫であるキリストが、サタンの権威を打ち砕く。信じなさい。 創 6:14 急なので箱舟を造って、箱舟の中に入って来なさい。 創 12:1-3 すべての民族があなたによって祝福される。</p> <p>2. 霊的問題を解決する産業化 1) 偶像(神殿) - これによって来た霊的問題をいやす産業化 2) 会堂、ロッジー-これを通してネフィリム運動を世界化しているが、彼らを生かす産業化 3) 作品(音楽) - この作品を作って世界化させるのに一番影響を与える作品が音楽</p> <p>3. 時空超越を産業化-レムナントはメディア勉強をたくさんすべき 1) 創 12:1-3 すべての民族があなたを通して救われるようになる 2) 創 13:14-18 アブラハムが悟ったときから、天と地を味わう祭壇を築き始めた 3) 創 14:14-20 メルキゼデク十分の一をささげたアブラハム。献金は光の経済 △レムナントは献金勉強、経済勉強してこそ、光の経済を持って世界を動かすことができる。 4) 創 15:1-7 が契約を握ったが、神様が「わたしがあなたの報い、盾」 5) 創 22:1-21 イサクの代わりに雄羊刻印→ 100 倍、泉の根源、レホボテの祝福</p> <p>□結論 1. 問題、試み、葛藤、危機(現実) - いつも答えを見つければ更新できて、絶好の機会となる。 2. 神の国を味わわなければならない。 3. 再創造挑戦- 300%準備(私が準備すること 100%、対象に対する準備 100%、客観性あるように世界化準備 100%)</p> | <p>御座-神の国(神の国のこと) - 7 大旅程のみことばを握るとき起こる。 COVIDIP が成し遂げられるが、この間に祈りが入っている。このような祈りを続けられれば、そのときごとに、みことばを握るようになる。 定刻祈り(力を受けること)、常時祈り(答えが出てくる時まで)、集中祈り(現場に挑戦)</p> <p>1 誘惑に会われたイエス 1. マタ 4:1 サタン-いちばん最初にサタンを砕かれた。 2. 試み-食べ物(衣食住)、名誉心刺激、礼拝対象(礼拝を奪っていく) 3. 御使い-サタンを砕くので、主の御使いが付きそった。 △神の国-私たちは祈っているが、現場で暗やみが砕かれて、御使いがお手伝い</p> <p>2 まことの幸い(山上垂訓) 1. 群衆-弟子-群衆はかわいそうなので助けてくださったが、弟子にはみことばを与えられた。 2. 反対のことに 8 つの幸いの特徴は、私たちが考える反対のことに 属国-暗やみに捕えられていて属国になっているイスラエルが持っているのは幸いではない。本当に問題に間違いないのか、レムナントと確認しなければならぬ。 3. 救われたあなたがたは光、塩-揺れないで契約だけ握っていればみな生かす。</p> <p>3 祈り 1. 人/神様-祈りは神様の前にすること 2. 主の祈り-御国が臨むように、みこころがなされるように、義(生かすこと、伝道) 3. 断食-特別な問題、神様の前で正しく祈らなければならないというとき、本当に重要なときに必要 宝-祈りは天に宝を積むこと、未来の運命と霊的 DNA を変えること 思い煩い X-何も思い煩ってはならない。</p> <p>4 先にすること-人間関係 1. 批判してはならない。 2. 大に聖なるものを与えるか。イスラエルに大きな問題が来るので、祈ることがどれくらい多いのに、批判をするのか。 3. 三つ-先にすること 1) マタ 5:24 兄弟と仲直りして礼拝 2) マタ 6:33 神の国とその義 3) マタ 7:1-5 あなたの目の梁を抜きとりなさい。 △指導者-相手の立場で考えて配慮すれば多くのことが見える。</p> <p>5 いやし 1. マタ 8:17 すべての病を担われたイエス様 2. 悪霊につかれた者、中風の者、盲人-根源(根本解決) - イエス様会ったことは人ができない根本解決が始まったこと 3. マタ 9:35-38 (羊飼いのない羊) - 誤った人を見たとき、羊飼いのない羊のようだと、かわいそうに思われたイエス様。世の中の人々を見ると、かわいそうでなければならない。 △イエス様は赦しなさいと言われ、赦すと言われた。それでこそ、新しい道を行くためだ。レムナントとの真のフォーラムを準備しなさい。</p> | <p>□序論 1. 呪文(呪術) - 後進国宗教 2. 反復祈り - 3 団体に実際の方法で負けている。 3. 集中祈り(奥義) - 生活で集中祈りを味わってこそ世界を動かす。</p> <p>□本論 1. ダビデの告白 1) 詩 139:1-9 「私のすべてを探り、知っておられる神様」 2) 詩 139:2-3 「私のすわるのも、立つのも、ご存じである神様」 3) 詩 139:4-10 「ことばと、天とよみにいてもご存じである神様」</p> <p>2. RT 7 人-生活の中で味わう祈り 1) 創 39:2、6、41:38 ヨセフ-奴隷現場、王の前で 2) 母-祈り 出 2:1-10 モーセが母から聞いたこと、80 年後にホレブ山でなされた 3) I サム 3:19 サムエルのことばが一つも地に落とされなかった。 4) ダビデ-位置 羊飼いで「主は私の羊飼いで、王「私の王」 5) II 列 2:9-11 エリシャだけがこれを求めた→ダタン、町運動の主役 6) ダニ 1:8-9 王宮の良いことが多いが、ダニエルは心を定めた。 7) 使 17:1、18:4、19:8 これを分けるパウロが会堂に入り込んで、彼らを変化させた</p> <p>3. 生活の中で 1) ずっと祈ればプラットフォームが出てくる。 2) 人を生かす見張り場が出てくる。 3) アンテナ作られる。</p> <p>□結論 すべてが祈りの中に入らなければ、レムナントは勝利する。</p> | <p>□序論 横隔膜が運動するように呼吸して、5 力が臨むように 1. 定刻祈り(力-5 力) - 感謝 5 力を受けるようになって感謝 常時祈り(答え-ときめき)問題の中に答えが出るのが基準。答えを受けるので、胸のときめき 集中祈り(挑戦-転換点)重要なことに挑戦すること。ものすごい転換点</p> <p>2. あらかじめ こうすれば、あらかじめ答えられる 1) あらかじめ見る(C) 2) あらかじめ持つ(V) 3) あらかじめ味わう(D) 4) あらかじめ征服(I) 5) あらかじめ成就(P)</p> <p>3. リズム リズムに乗らなければならない 1) 霊的 霊的リズム 2) 生活(祈り) 祈りと生活のリズム 3) 作品 作品を作るリズム</p> <p>□本論 1. 理由 X 1) 状況 すべての状況は神様の計画があるため関係ない。 2) 知っているゆえ 理由を知っているの理由がない。 3) 別の理由 さらに重要なこと</p> <p>2. 背景 変わらない背景をいつも味わうべき 1) カルバリ 2) オリーブ山 3) マルコの屋上の間</p> <p>3. 変える力 現場を変える力ができる 1) 9 流れ 9 つの流れを見る 2) 当然、必然、絶対 3) ただ、唯一性、再創造</p> <p>□結論 中心 神様は中心に答えられる。これを(中心)合わせれば忠実であること。そこに神様は御座の力、祝福、霊的なことを集められる。</p> |

| △区域メッセージ 多民族時代 TCK 伝道運動と私の 24 (創 37:1-11) | △聖日 1 部礼拝 スロ・フェニキヤ女の信仰 (マコ 7:24-30) | △聖日 2 部礼拝/一般信徒宣教献身礼拝 エパタ 宣教 (マコ 7:31-37) |
|--|--|--|
| <p>△第三の文化圏にいる子どもたち (TCK) を通して伝道運動が起きた。私がここに對する答えを見つけて持っていることを「24」と言う。</p> <p>□序論 御座</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ノア箱舟-ネフィリム時代にノア 1 人で世の中を変化 2. モーセ-エジプト時代のとき、モーセ 1 人で世の中を変化 3. ペリシテ-1 人、2 人が持っても変化 4. アッシリヤ、アラム-私たちが今、行く道に直ちに答えが来なくても大丈夫だ。 5. バビロン、ローマ-バビロン、ローマはイスラエルを困らせた国々 宣教-イスラエルが「宣教」ということをあらかじめ知ったら、敵が道になる。それを悟った人が出てくるたびに神様は働かれた <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. TCK-聖書で神様はほとんどみな TCK を用いられた <ol style="list-style-type: none"> 1) 創 39:1-6 ヘブル人のヨセフがエジプトに奴隷に行った。とても難しい状況だが、世界福音化できる条件を神様がくださった。 2) 出 2:1-10 契約を持っている TCK であるモーセ 1 人のゆえに多くの運動が起こった。 3) 1 サム 2:1-10 幼い時から神殿にいたサムエルに、とても難しいのとき、イスラエルを変える準備をみなさせられた。 4) 詩 23:1-6 ダビデは人生半分を危機の中で逃亡していたが、最高の準備をさせられた。 5) 1 列 19:19-21 (アベル・メホラ)、ドタンの町-エリシャは、アベル・メホラ出身、世界福音化することができる人物でも職業でもなかったが、神様がドタンの町運動の主演になるようにされた。 6) ダニ 1:8-9、エス 2:10 捕虜になったダニエル、両親がなく育って王宮に入ったエステルを通して働かれた。 7) 初代教会 (ガリラヤ)、ローマ-初代教会で力がないガリラヤの人々に御座の祝福によって世界福音化するようにさせた。 2. 聖書 <ol style="list-style-type: none"> 1) 切り株 2) 残りの者-捨てられた者ではなくて、残りの者 3) 散らされた者-神様の奥義を持った者 4) 旅人-巡礼者 3. 背景-三位一体、身分、権威 <ol style="list-style-type: none"> 1) 御座の力 2) 時空超越 3) 237 -事件を通して 237 国生かすこと <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 空間- TCK がきて、ここがわが家だと感じることができる空間があるべき 2. 異なること-異なることで刻印、根、体質なっているので、助けなければならぬ。 3. 傷-長所-傷が長所になるように助けなければならない。 未来学校-私の未来が見える未来学校がなければならない。237 国がくることが出来る「それらしい教会」、多くの TCK が来るようにプラットフォームがある教会であるべき。それなら、私たちの考えと器が最も重要だ。 | <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本文の背景-悪霊につかれた娘を治してほしいと来たスロ・フェニキヤの女に誰がパンを犬に与えるかと、イエスが侮辱的な話をされた。女が犬も主人の子どもたちが食べる机から落ちるパンくずを食べると言った。悪霊が娘から出て行ったので、戻って行きなさいとおっしゃった。女が帰ってみると、娘がいやされた状態であった。 2. 先に知らなければならない二つのこと <ol style="list-style-type: none"> 1) 聖書にだけある話 <ol style="list-style-type: none"> (1) エデンの園事件 (創 3 章) -サタンが誘惑して神様を離れて苦しみが始まった。 (2) ノア 洪水事件 (創 6 章) -ネフィリム (憑依) 時代が来た (3) バベルの塔事件 (創 11 章) -多くの人々が神様に挑戦した 2) 今でも続く問題 <ol style="list-style-type: none"> (1) ニューエージ運動-神様がいないでもかまわない。 (2) フリーメイソン-別の世界、別の力 -憑依させるネフィリム運動 (3) ユダヤ人-キリストを否定する団体 3. 何を助けなければならないのか <ol style="list-style-type: none"> 1) 人間は神様を離れて神様を知らなければ引き続き問題がくる。靈的に死んだ人は絶対に幸せになれない。 2) 福音を受けることになれば苦しみが祝福になって伝えられる。 <p>□本論 どのようにすれば良いのか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリストとの絶対出会い-女はイエス様のところにやって来て、その足もとにひれ伏した (25 節) <ol style="list-style-type: none"> 1) 創 3:15 神様の解決策 2) 受肉されたキリストに会ったこと 3) 復活されたキリスト 4) 再臨主として立たれるイエス様 5) 御座の主人であるイエス様を信じること △「だからキリストなのだ」確認しなければならない。そうでなければ、わざわざに勝つこともできなくて、わざわざ来ることも分からない。これをなくした祭司。暗やみとサタンに勝てない。これを打ち砕いた王、地獄に背景に勝てない。それをご存じて、まことの預言者。それがキリストだ。 2. 神様の絶対計画なら、あきらめないで行動するとき動きが起こる (26-28 節) <ol style="list-style-type: none"> 1) 紅海-信じて入ったとき 2) ヨルダン-足が水に入ったとき 3) エリコ-回ったとき 3. 契約を悟った絶対弟子ひとり、他の人を生かすことができる (29-30 節) <ol style="list-style-type: none"> 1) 親の信仰-子どもをいやす 2) 主のしもべの祈り-信徒を生かす。 3) 重職者の信仰-現場を生かす 4) 新しい家族の信仰-家系を生かす。 5) レムナントひとりの信仰-世界を生かす。 <p>□結論 三つのことを持って行きなさい</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 神の子どもという驚くべき祝福を持っていけば必ず暗やみは崩れる。 2. 神様の絶対計画なら無条件挑戦するのだ。あきらめてはいけない。 3. みなさん 1 人のゆえに、その現場は生かされるようになっていく。 <p>△みなさんがいる所に目に見えないように靈的世界が成り立つ。</p> | <p>神様はイスラエルに初めから世界福音化しなさいとおっしゃった。そのような資格があるのに、悟れず、奴隷に、捕虜に送って属国にさせて全世界に散らした。</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉をしなさい 2. 障がい者 (世界 12 億、韓国 264 万) -大きい畑 3. ろう者 (世界 4 億 6 千、韓国 40 万) -聞こえず話ができないが、疎通することができる。これに對するメッセージを与えるのだ。イエスが「開け!」と言われたので耳、口も開いたのだ。 <p>32 節-「人々は連れて来てイエスにいやしを求めた」-助けなしではできないのだ。</p> <p>33 節-「別途」その人だけを群衆の中から連れ出し-彼らに對する関心がなければ、彼らは福音を聞かない。イエスが彼らにエパタの祝福を与えられたのだ。</p> <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 根源的-「別途」(33 節) -イエスが根源的に閉じられたことを開かれたのだ。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 運命 (33 節) -運命をひっくり返してしまわれたのだ。群衆から離れるようにされた。人に頼らずに、神様から出てくる根源的な力を体験しなさい。 2) 靈的 DNA -キリストが靈的 DNA を変えてしまったのだ。 3) 閉じられた靈-「開け!」閉じられた靈が完全に開いてしまったのだ。 △12 億の障がい者は、根源的なことが変わらなければ、絶対にだめだ。 2. 長くなったこと-「嘆息」(34 節) -キリストが体験できなければならない。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 創 3、6、11-サタンの落とす穴 2) 使 13、16、19-サタンの枠 3) 未信者 6 つ-サタンのわな サタンの戦略に引っ掛かって長くなったこと-それゆえ、イエスが嘆息されたのだ。キリストが「開け!」とおっしゃった。今でもキリストがみなさんの産業を 10 秒だけ祝福されても、驚くことが広がる。 3. 今日ふさがっていること (35 節) -いくら契約と祝福が来ても、これを開かれなければならない。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 成就 (障がい者) -イエスが「エパタ!」とおっしゃる瞬間に成就したのだ。多くの障がい者に靈的な目を開かせてあげなければならない。あなたたちは障がい者ではない。本当の障がい者は、ここに (本論 2) に閉じ込められていることだ。神様の祝福を知らずに肉のことに捕えられていることが、本当の障がい者だ。 2) 問題、試み、危機 (36 節) -みな越えた。 3) 未来の門 (37 節) -神様の計画が確実ならば、迷うことではない。 <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地の果て-RT, TCK, 障がい者-彼らを伝道者にしなければならない。 2. 世の中の人材-福音を分からない彼らが本当の障がい者だ。生かさなければならない。 3. 既成世代-恵みを受けなければならない。 |